

2015年 9月 4号



安倍総理へ抗議文送付 戦争法の強行採決に対し

戦争法案（安全保障関連法案）の強行採決への抗議

昨日、自民公明政権は国民の平和への願いを込めた行動と声を無視し、戦争法案を強行採決した。

日本国憲法は、その前文で「日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであって、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した」と宣言している。今日まで、日本は戦争に参加することなく、世界の中で70年間の平和を守ってきた。

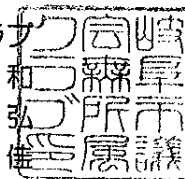
日本と世界の人々の尊い命の犠牲の中から築き上げた「平和憲法」の解釈を大きく変え、最高裁長官経験者も憲法違反であると指摘する法案を強行採決し、安倍内閣は日本を戦争の出来る国へと変えようとしている。

平和主義と民主主義そして立憲主義への挑戦であり、平和を愛する日本国民と世界の人々と連帯し、私たちは戦争法案の強行採決に強く抗議する。

2015年 9月18日

岐阜市議会 無所属クラブ

代表 松原徳和
服部勝弘
田中成佳
高橋和江



内閣総理大臣

安倍晋三 様

連絡先 岐阜市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500



松原のりかず
☎058-253-2500

本会議質問冒頭に強行採決へ抗議表明

国会内外で活動の野党議員団と市民に連帯

松原のりかず 9月18日 市議会本会議質問冒頭

「質問の前に、戦争法案（安全保障関連法案）の強行採決への抗議を表明します。昨日、自民公明政権は国民の平和への願いを込めた行動と声を無視し、戦争法案を強行採決した。

日本国憲法は、戦没者310万人とその御家族、そして世界の人々の尊い命により獲得された。今日まで、日本は戦争に参加することなく、世界の中で70年間の平和を守って来た。

安倍内閣は日本を再び、戦争の出来る国へと変えようとしている。平和主義と民主主義、そして立憲主義への挑戦である。私たちは、平和を愛する日本国民と世界の人々と連帯し、戦争法案の強行採決に強く抗議する。

同時に、現在、国会内外で平和を守る為に活動されている、野党国会議員団と多くの市民に心からの連帯を表明する。」

松原のりかず 9月議会 人権問題、下水道政策の失敗など5点質問

- 1 人権問題 教育事業団職員採用面接時の人権侵害発言とその背景について
- 2 下水道政策に失敗 レンガプラント、リンプラントの赤字約30億円で
- 3 特別養護老人ホームの入所待機期間の短縮と、待機期間通知システムについて
- 4 学童保育6年生保育の早期実施への取り組みについて
- 5 「岐阜市民の歌」と「蒼い流れに」教育現場での実践について